

- 問1 2015年に採択された、京都議定書とは異なり、途上国を含むすべての国が温室効果ガスの削減目標を設定して取り組むことを定めた国際的な協定を何というか。 (2026年 熊本県公立入試 類似)
1. ワシントン条約                      2. リオデジャネイロ宣言                      3. パリ協定                      4. 京都議定書
- 問2 国際社会における経済格差を測る指標の一つに、国の経済活動の規模を示す国内総生産（GDP）を、その国の人口で割ったものがあります。この数値が示す内容として最も適切なものを、次のうちから選びなさい。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
1. その国の政府が1年間に使用した公共事業費の合計                      2. 発展途上国に対して行われた政府開発援助（ODA）の総額                      3. 国民一人ひとりの平均的な経済的な豊かさ                      4. 国全体の輸出総額から輸入総額を差し引いた利益
- 問3 海洋に漂流するごみの約65.8%をプラスチックが占め、それらが自然分解されるまでに数百年という長い時間を要するという課題があります。このような状況を受け、消費者が「マイバッグ」を持参するなどの行動をとる主な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)
1. プラスチックをすべて再資源化することで、ゴミ箱への廃棄を完全になくするため                      2. プラスチック製品の供給量と廃棄量を抑え、海洋環境に及ぼす悪影響を減らすため                      3. 海洋ごみの回収作業を効率化し、海中での分解を早める化学物質を散布するため                      4. 生産者のみに製造責任を負わせ、プラスチック製品の流通を法律で全面的に禁止するため
- 問4 地球温暖化の主な原因とされる温室効果の仕組みについて、正しく説明したものはどれですか。 (2016年 京都府公立入試 類似)
1. フロンガスが上空の層を破壊し、太陽からの強い紫外線を直接地表に届かせる仕組み。                      2. 化石燃料の燃焼で発生した硫黄酸化物が雨に溶け、森林を枯らして保水力を低下させる仕組み。                      3. 大気中の二酸化炭素などが、地表から放射される熱を吸収して大気を暖める仕組み。                      4. 都市部の建物や舗装道路が熱を蓄え、周辺地域よりも気温が著しく高くなる仕組み
- 問5 都市部での渋滞緩和や環境保護を目的として路面電車の導入を検討する際、バスと比較した環境的側面について述べた文として、正しいものはどれですか。なお、一人を1km運ぶ際のエネルギー消費量は鉄道が104kcalに対してバスは183kcal、二酸化炭素排出量は鉄道が22gに対してバスは56gであるものとします。 (2017年 岩手県公立入試 類似)
1. 鉄道はバスと比較しても、一人当たりのエネルギー消費量が約4割抑えられ、二酸化炭素排出量も半分以下である。                      2. 鉄道とバスを比較すると、二酸化炭素排出量は同程度であるが、鉄道の方がエネルギー効率が極めて悪い。                      3. 鉄道はバスよりも一度に運べる人数が多いため、一人当たりのエネルギー消費量はバスよりも大きくなる。                      4. バスは鉄道に比べて二酸化炭素排出量が少ないため、環境負荷の観点からは鉄道よりバスの導入が優先される。
- 問6 2005年と比較して2017年の日本では、廃プラスチックの「有効利用率」が上昇しました。この統計的な変化が起こった要因として、総排出量と有効利用量の関係を正しく述べたものはどれですか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
1. 総排出量と有効利用量がどちらも同じ割合で減少したため                      2. 総排出量は変化していないが、有効利用量だけが大幅に減少したため                      3. 分母となる総排出量が減少し、分子となる有効利用量が増加したため                      4. 分母となる総排出量が増加し、分子となる有効利用量が減少したため
- 問7 持続可能な社会の実現に向け、農業分野において農薬の適正管理や食品の安全性向上に取り組むことは、SDGsの目標達成においてどのような役割を果たしますか。その背景や理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 和歌山県公立入試 類似)
1. 農作業に従事する人々の性別による格差をなくし、雇用の場におけるジェンダー平等を最優先で実現する役割                      2. 農業における高度なIT技術の導入を義務化することで、教育の質の向上とデジタル化を同時に達成する役割                      3. 生産過程における環境や人体への悪影響を抑えることで、安全な食料を将来にわたって安定的に供給できる体制を整える役割                      4. 農薬の使用を全面的に禁止することによって、農産物の国際的な取引価格を不当に吊り上げる役割
- 問8 二酸化炭素の総排出量が非常に多い中国やアメリカ合衆国の現状や、先進国における一人あたりの排出量の多さが問題となる中で、1997年の気候変動枠組み条約締約国会議で採択された「京都議定書」が果たした役割として正しいものはどれか。 (2015年 山口県公立入試 類似)
1. 絶滅のおそれがある野生動植物の国際的な取引を規制し、生物多様性の保全を義務づけた                      2. 発展途上国のみを対象として、熱帯雨林の保護と引き換えに先進国からの資金援助を定めた                      3. 先進国に対して、温室効果ガスの排出削減を法的拘束力のある数値目標として義務づけた                      4. すべての締約国に対して、世界の平均気温上昇を産業革命前と比べて2度未満に保つ目標を課した
- 問9 地球温暖化対策の国際的な枠組みであるパリ協定について、その内容や特徴を説明した文として最も適切なものを次から選びなさい。 (2026年 新潟県公立入試 類似)
1. 酸性雨による森林被害を防ぐために、二酸化硫黄などの汚染物質の排出量を世界全体で一定割合削減することを義務づけている。                      2. 先進国のみに温室効果ガスの排出削減義務を課し、発展途上国には経済発展を優先させるため削減の義務を課さないとしている。                      3. オゾン層を保護することを目的として、エアコンの冷媒などに使われるフロンガスの生産や使用を国際的に禁止することを定めている。                      4. 途上国を含む全ての参加国が温室効果ガスの削減目標を定め、世界の平均気温上昇を産業革命前と比べ2度未満に抑えることを目指す。
- 問10 資源の消費を抑え、環境への負荷を減らすために、使い終わったものを廃棄するのではなく、再生利用や再利用を積極的に進めることで資源を効率的に活用する社会の仕組みを何と呼びますか。 (2023年 山梨県公立入試 類似)
1. 消費型社会                      2. 工業化社会                      3. 循環型社会                      4. 情報化社会
- 問11 大量生産・大量消費・大量廃棄という社会の仕組みを見直し、資源を効率的に利用して環境への負荷を減らすために、2000年に制定された法律は何ですか。 (2018年 兵庫県公立入試 類似)
1. 資源有効利用促進法                      2. 環境基本法                      3. 循環型社会形成推進基本法                      4. 消費者基本法
- 問12 開発途上国で作られたコーヒーやカカオなどの製品を、適正な価格で継続的に購入することで、生産者の生活改善や自立を目指す仕組みを何といますか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
1. エコツーリズム                      2. フェアトレード                      3. モノカルチャー経済                      4. マイクロクレジット
- 問13 持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取り組みの一つに、開発途上国の生産者が公正な取引を通じて自立することを支援する仕組みがあります。この仕組みを何と呼びますか。 (2025年 茨城県公立入試 類似)
1. ワーク・シェアリング                      2. フェアトレード                      3. クラウドファンディング                      4. クーリング・オフ